

尼崎市北部耕地整理組合関係文書概要

- 1: 文書群番号 075011
- 2: 文書群名 尼崎市北部耕地整理組合関係文書
- 3: 出所 尼崎市北部耕地整理組合
- 4: 家業・役職等
- 5: 地名 [別所] 摂津国川辺郡別所村／兵庫県川辺郡別所村／尼崎市別所／尼崎市御園町ほか [東難波] 摂津国川辺郡東難波村／兵庫県川辺郡東難波村／川辺郡立花村東難波／尼崎市東難波／尼崎市東難波町ほか
- 6: 行政区分 [別所] 尼崎藩領／兵庫県第9区／尼崎町戸長役場／尼ヶ崎町／尼崎市 [東難波] 尼崎藩領／兵庫県第10区／東難波組戸長役場／立花村／尼崎市
- 7: 歴史 尼崎市北部耕地整理組合は、大正14年(1925)に発足した。施行区域は、尼崎市別所村と東難波村のそれぞれ一部、64.5ヘクタールが対象であった。先行する竹谷新田耕地整理組合、西難波耕地整理組合とともに、三事業約120ヘクタールをあわせ一体として街づくりを行った。「耕地整理」と称するが、事業計画の実質は急速な都市化の進展に対応するための宅地造成であった。
組合員は171名で、組合長は当時の尼崎市長上村盛治であった(昭和3年・1928当時)。工事は大正15年度から開始された。昭和5年、換地に関するトラブルが生じたため、組合長が辞任する事態となったが、その後も工事は進められ、同9年度には完了したと考えられる。組合は同15年に解散した。
- 8: 伝来 市史編集室が調査済みであった本文書群を、昭和51年に中西洋氏が史料館へ寄贈。
- 9: 史料入手先 中西洋氏
- 10: 点数 49点(目録件数49件)
- 11: 年代 昭和3年(1928)～同15年(1940)
- 12: 構造と内容 尼崎市北部耕地整理組合が発足したのは大正14年(1925)であるが、本史料群は昭和3年(1928)から組合が解散する同15年までの史料により構成されている。
戦前ないし敗戦直後の土地区画整理事業は、事業終了後に事業誌が作成されないケースが多い。同事業もそれに該当するため、本史料群はその意味でも貴重である。
内容は、①異動、規約変更、起債等に関する各種届・申請書・証明書と、②組合長・組合副長・組合評議員等役員人事に関するものが大半を占める。
その他、換地処分の際おこった紛糾についての詳細報告書などもある。
- 13: 関連史料 -
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 河野未央